

「資源循環型パッケージングカンパニー」を目ざして

2025年12月期第1四半期決算説明資料

資料構成

1. 2025年12月期第1四半期トピックス

2. 2025年12月期第1四半期業績概要

3. 参考資料



1. 2025年12月期第1四半期トピックス

1Q業績総括 ①

【業績】

- 連結売上高は、37億48百万円（前年同期比0.1%減）
- 連結営業利益は、2億30百万円（前年同期比16.8%増）
- EBITDAは、4億81百万円（前年同期比5.0%増）

【特徴】

- 日本は、新規顧客・新規案件獲得増に向けて営業活動の強化を継続中。お客様の環境意識の高まりから資源循環型パッケージング売上が寄与したものの、大口のリピート案件が減少し国内売上は減収
- インドは受注が好調で売上増加に寄与し黒字化達成。中国は消費者の節約志向が継続。同業者間の競争が激化するものの、新規案件獲得数の増加が寄与し増収。利益面では生産の自動化を推進するなど原価低減の効果もあり、黒字を確保
- バイオマス樹脂やリサイクル樹脂を使用した容器、軽量化容器、詰替え容器、Recyclable容器など資源循環型パッケージング売上は9億10百万円(連結売上高の24.3%) となる

1. 2025年12月期第1四半期トピックス

1Q業績総括 ②

【日本】

- 新規顧客・新規案件獲得増に向けて営業活動の強化を継続しているものの、スポット案件や大口のリピート案件が減少し、売上高は29億48百万円(前年同期比3.8%減)と減収に
- バイオマス樹脂やリサイクル樹脂を使用した容器、軽量化容器、詰替え容器、Recyclable容器など資源循環型パッケージングは売上高に寄与
- コスト面では、水道光熱費負担が増加するも、原材料費負担及びその他のコストはほぼ前年並みで推移
- 営業利益については、販売価格の見直し効果の浸透で粗利率が増加するものの、売上減少に伴う粗利額の減少により1億81百万円(前年同期比11.8%減)と減益に

1. 2025年12月期第1四半期トピックス

1Q業績総括 ③

【中国】

- 消費者の節約志向が依然として継続。化粧品分野の同業他社との競争激化もある中で、食品分野の開拓など営業面の見直しを図る。新規案件獲得増なども寄与し、売上高は6億6百万円(前年同期比で9.2%増)となった
- 売上高に見合った生産体制を構築済み。さらに生産の自動化・省力化の範囲を拡張することで原価低減を継続し営業黒字に

【インド】

- 売上高は1億84百万円（前年同期比35.0%増）と四半期単位の最高額を更新
- インド化粧品市場が引き続き活況であることに加えて、営業活動を通じて当社の特徴(アイテム数の多さ、印刷等)が浸透し、取引顧客数も増加
- 品揃え強化、生産能力向上への設備投資などの施策を継続。売上拡大と粗利額増加により当四半期から営業利益の黒字化を達成

1. 2025年12月期第1四半期トピックス

米国関税政策による影響

【当社の事業特性】

- 当社は日本、中国及びインドに生産拠点、米国、欧州、タイには販売拠点を持ち、包装容器等の製造販売事業を行う
- 生産拠点のある日本、中国、インドでは現地で生産し現地で消費する事業形態
- 欧州、米国、タイは販社で生産拠点がいないため、貿易により事業を行うものの、連結売上高に占める3拠点の売上割合は数%にとどまる

【影響についての考察】

- <米国での影響> 中国（当社工場）で生産した製品を、米国（当社販売拠点）へ輸出する取引は、取引量自体が少ないため、関税引上げに伴う直接的な影響は極めて限定的とみている
- <日本での影響> 中国の容器会社が米国に輸出していた商流が米国から日本国内に向くことが考えられるため、安価品の流通量増加等容器市場の競争が従来以上に厳しくなる可能性がある
- <中国での影響> 中国の容器会社が米国に輸出していた商流が米国から中国国内に向くことが考えられるため、中国国内で供給過多になり、値下げ圧力等中国の容器市場の競争が従来以上に厳しくなる可能性がある

資料構成

1. 2025年12月期第 1 四半期トピックス

2. 2025年12月期第 1 四半期業績概要

3. 参考資料



2. 2025年12月期第1四半期業績概要

2025年12月期第1四半期連結決算ハイライト

	2024年第1四半期 (1-3月期) ¥20.63/RMB ¥148.63/USD	2025年第1四半期 (1-3月期) ¥20.94/RMB ¥152.55/USD	前年同期比		2025年計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	百万円 3,750	百万円 3,748	百万円 ▲2	▲0.1%	百万円 ▲81	▲2.1%
営業利益	197	230	+33	+16.8%	+30	+15.4%
売上高営業利益率	5.3%	6.1%	+0.9P	—	+0.9P	—
経常利益	190	244	+53	+28.2%	+38	+19.0%
四半期純利益	106	188	+81	+75.8%	+47	+33.7%

減価償却費	261	251
原材料費	581	559
設備投資額	138	172
(うち 金型)	70	35
EBITDA	458	481
EBITDA比率	12.2%	12.8%

2. 2025年12月期第1四半期業績概要

地域別グループ企業業績

百万円

日本	2024年第1四半期	2025年第1四半期	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	3,066	2,948	▲117	▲3.8%	▲51	▲1.7%
営業利益	205	181	▲24	▲11.8%	▲20	▲10.3%
営業利益率	6.7%	6.1%	▲0.6P	—	▲0.6P	—

中国	2024年第1四半期 ¥20.63/RMB	2025年第1四半期 ¥20.94/RMB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	555 (26)	606 (28)	+51 (+2)	+9.2% +7.6%	▲13 (▲2)	▲2.2% ▲6.6%
営業利益	▲4 (▲0)	16 (+0)	+20 (+0)	— —	+25 (+1)	— —
営業利益率	▲0.8%	2.7%	+3.5P	—	4.1P	—

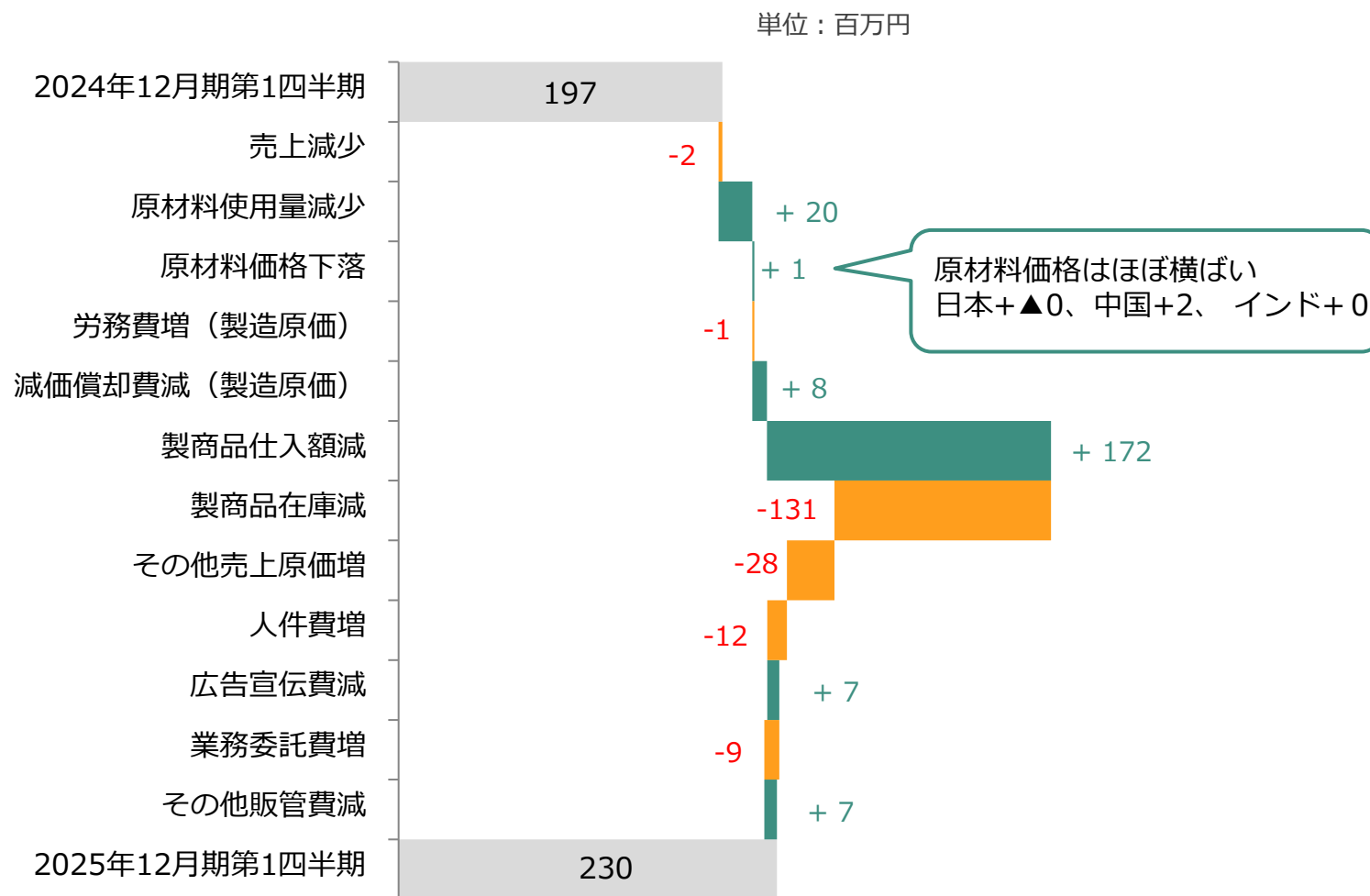
※（ ）内はRMBベース:百万円

その他地域	2024年第1四半期 ¥148.63/US\$ ¥161.33/€ ¥1.80/INR ¥4.17/TB	2025年第1四半期 ¥152.55/US\$ ¥160.55/€ ¥1.77/INR ¥4.49/TB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	193	257	+64	+33.3%	+0	0.1%
営業利益	▲7	29	+36	—	+23	—
営業利益率	▲3.8%	11.5%	+15.2P	—	+9.2P	—

- ・アメリカは売上が計画比減、昨年比増で推移。米国関税政策の対応として仕入ルートが多様化を検討中
- ・オランダは売上が計画比、昨年比減で推移もEC在庫からのサンプル売上は計画通りで推移。展示会で引き合いのあった案件も進行中

2. 2025年12月期第1四半期業績概要

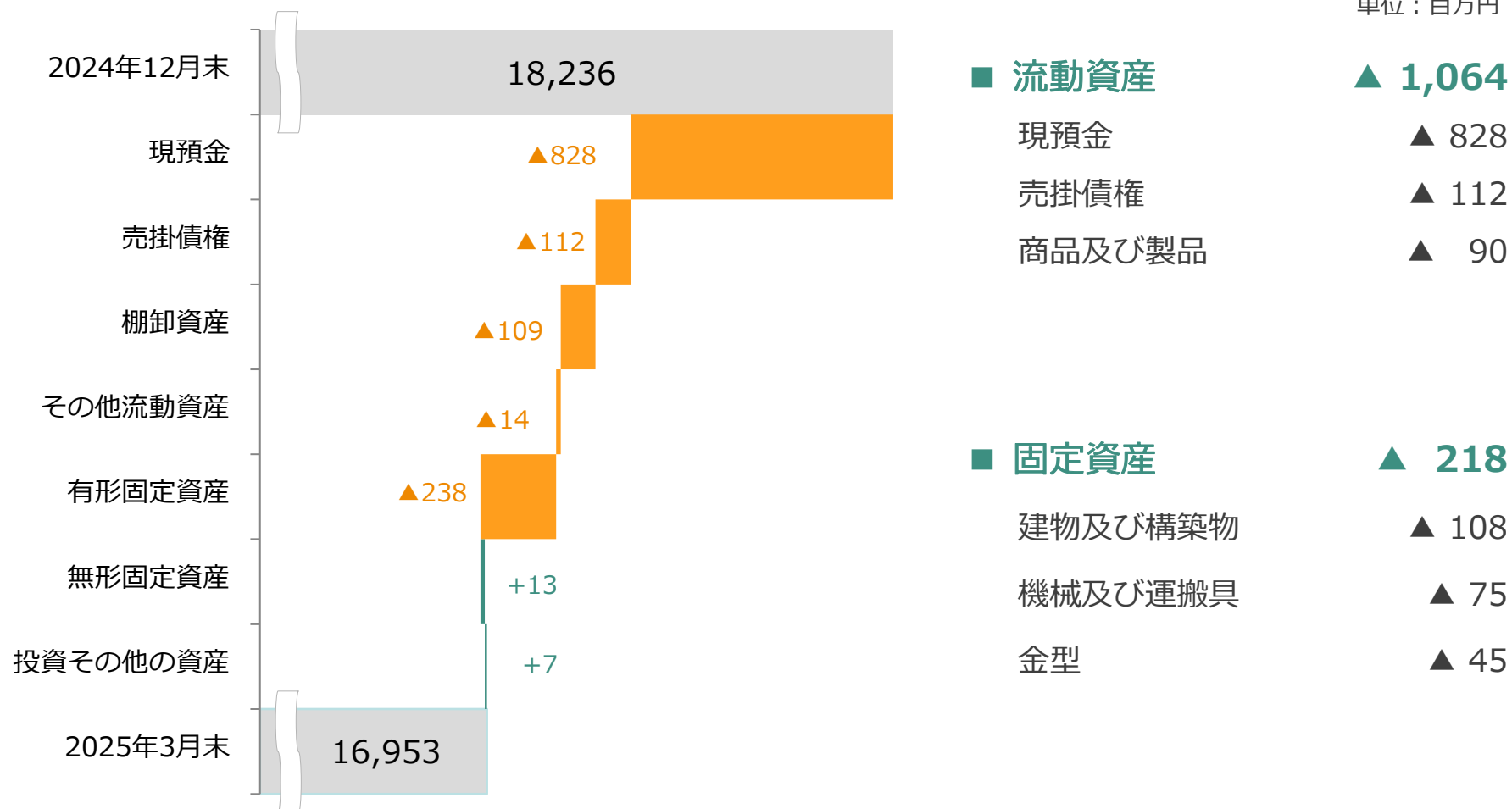
2025年12月期第1四半期 営業利益の変動分析



2. 2025年12月期第1四半期業績概要

2025年12月期第1四半期 連結貸借対照表 資産の部

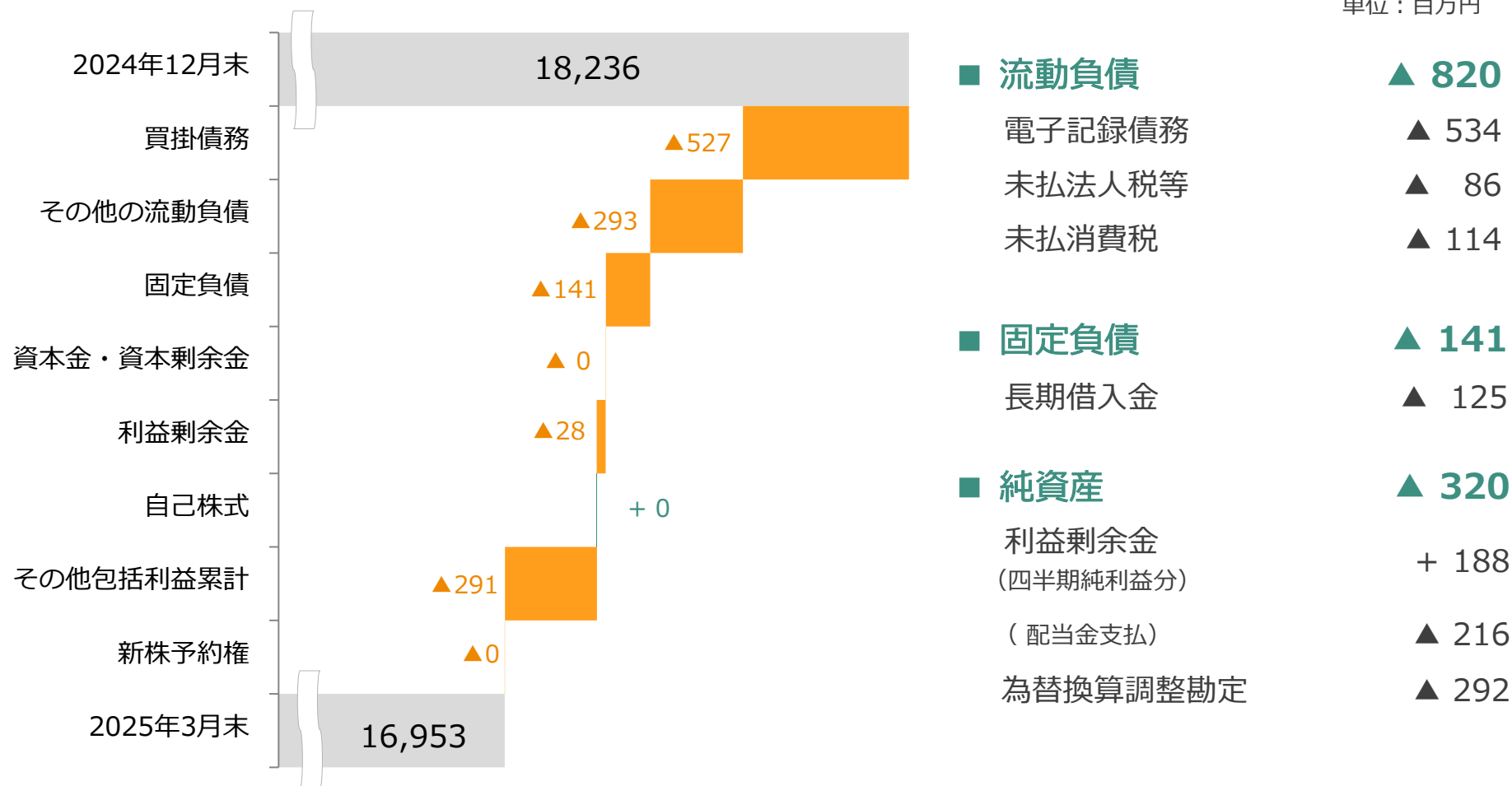
単位：百万円



2. 2025年12月期第1四半期業績概要

2025年12月期第1四半期 連結貸借対照表 負債・純資産の部

単位：百万円



資料構成

1. 2025年12月期第1四半期トピックス
2. 2025年12月期第1四半期業績概要
3. 参考資料



3. 参考資料

地域別グループ企業業績（2023年からの四半期推移）

（百万円）

地域		2023年 第1四半期	2023年 第2四半期	2023年 第3四半期	2023年 第4四半期	2024年 第1四半期	2024年 第2四半期	2024年 第3四半期	2024年 第4四半期	2025年 第1四半期
日本	売上高	2,710	2,921	2,817	2,953	3,066	3,208	3,344	2,899	2,948
	粗利額	756	822	834	859	834	945	920	782	814
	営業利益	154	191	231	250	205	303	285	134	181
中国	売上高	714	602	586	530	555	665	594	623	606
	粗利額	138	77	102	73	149	178	141	176	167
	営業利益	▲29	▲92	▲69	▲84	▲4	6	▲12	28	16
欧米	売上高	24	65	79	62	40	49	85	64	51
	粗利額	8	14	17	18	11	12	22	12	15
	営業利益	▲7	0	0	0	▲4	▲3	2	▲5	▲4
その他 アジア	売上高	114	130	133	115	152	167	153	185	206
	粗利額	25	28	22	16	28	36	27	51	67
	営業利益	2	▲2	▲13	▲18	▲3	2	▲7	12	34
連結	売上高	3,502	3,654	3,547	3,613	3,750	4,042	4,110	3,722	3,748
	粗利額	929	943	975	968	1,026	1,169	1,112	1,020	1,064
	営業利益	122	98	151	159	197	305	270	172	230

3. 参考資料

地域別グループ企業業績（2020年からの年間推移）

(百万円)

地域		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年	
		金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本	売上高	11,651	▲0.8%	12,005	+3.0%	11,390	▲5.1%	11,403	+0.1%	12,519	+9.8%
	粗利額	3,917	+5.0%	3,942	+0.6%	3,341	▲15.2%	3,272	▲2.1%	3,482	+6.4%
	営業利益	1,429	+11.9%	1,485	+3.9%	922	▲37.9%	827	▲10.3%	928	+12.2%
中国	売上高	3,149	▲8.4%	3,544	+12.5%	3,165	▲10.7%	2,434	▲23.1%	2,438	+0.2%
	粗利額	993	▲1.0%	971	▲2.2%	651	▲33.0%	391	▲39.8%	645	+64.7%
	営業利益	472	+8.9%	335	▲29.0%	▲59	—	▲274	—	18	—
欧米	売上高	184	+12.0%	297	+61.2%	206	▲30.5%	231	+12.0%	241	+4.4%
	粗利額	41	+1.7%	62	+49.4%	60	▲2.1%	57	▲4.9%	58	+0.8%
	営業利益	▲10	—	3	—	7	+147.8%	▲7	—	▲12	—
その他 アジア	売上高	109	+57.7%	181	+64.7%	321	+77.6%	493	53.4%	659	+33.5%
	粗利額	▲39	—	2	—	55	+2,472%	93	66.9%	143	+53.9%
	営業利益	▲119	—	▲74	—	▲41	—	▲31	—	4	—
連結	売上高	14,863	▲2.2%	15,776	+6.1%	14,885	▲5.6%	14,317	▲3.8%	15,626	+9.1%
	粗利額	4,912	+3.9%	4,979	+1.4%	4,107	▲17.5%	3,818	▲7.1%	4,329	+13.4%
	営業利益	1,778	+15.6%	1,754	▲1.3%	836	▲52.4%	522	▲37.6%	945	+81.1%

3. 参考資料

区分別販売実績（2023年からの販売先の主要事業内容ごとの四半期推移）

(百万円)

	2023年 第1四半期	2023年 第2四半期	2023年 第3四半期	2023年 第4四半期	2024年 第1四半期	2024年 第2四半期	2024年 第3四半期	2024年 第4四半期	2025年 第1四半期
化粧・美容	1,998	2,192	2,090	2,133	2,345	2,593	2,638	2,272	2,330
日用・雑貨	263	255	237	229	257	249	255	241	239
食品・ 健康食品	337	388	341	320	348	390	383	328	324
化学・医薬	194	180	212	199	239	186	257	235	205
卸、その他	707	637	664	730	559	622	576	645	649
合計	3,502	3,654	3,547	3,613	3,750	4,042	4,110	3,723	3,748

区分別販売実績（2023年からの製商品の内訳ごとの四半期推移）

(百万円)

	2023年 第1四半期	2023年 第2四半期	2023年 第3四半期	2023年 第4四半期	2024年 第1四半期	2024年 第2四半期	2024年 第3四半期	2024年 第4四半期	2025年 第1四半期
スタンダード ボトル	2,677	2,848	2,716	2,723	2,687	3,091	3,063	2,791	2,775
ビスポーク	333	304	329	337	376	363	364	376	410
他社製品	465	475	471	524	632	543	653	529	526
材料その他	25	26	29	27	54	44	29	24	35
合計	3,502	3,654	3,547	3,613	3,750	4,042	4,110	3,723	3,748

3. 参考資料

区分別販売実績（2020年からの販売先の主要事業内容ごとの年間推移）

2020年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出機会の減少による化粧品向け需要が減少。一方、衛生関連用品の需要は増加。2021年は衛生関連用品需要は一段落したものの、口臭衛生関連は需要増で化学・医薬は伸長。資源循環型パッケージングの伸びも後押しし化粧品向けを中心に売上が拡大。2022年は3月までの行動制限の影響や下期の第7波、8波と繰り返される感染者数増加の影響もあり、化粧品需要が本格的に回復するまでには至らず前年並み。前年度の口臭衛生関連の需要は一段落し、化学・医薬品は減少。2023年は4Qの化粧品、食品向けの受注増で売上は前年並みを確保。中国は売上大幅減もインドは化粧品向け好調。2024年は大型の受注案件増により化粧・美容関係が大幅増。中国は消費者の節約志向や競争激化によりほぼ前年並み

(百万円)

	2020年			2021年			2022年			2023年			2024年		
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
化粧・美容	8,147	% 54.8	% ▲7.4	8,904	% 56.4	% 9.3	8,938	% 60.0	% 0.4	8,415	% 58.8	% ▲5.8	9,850	% 63.0	% 17.1
日用・雑貨	1,019	6.9	44.5	930	5.9	▲8.7	845	5.7	▲9.1	986	6.9	16.6	1,002	6.4	1.7
食品・健康食品	1,347	9.1	▲2.8	1,470	9.3	9.1	1,335	9.0	▲9.2	1,389	9.7	4.0	1,450	9.3	4.4
化学・医薬	906	6.1	11.7	1,096	7.0	20.9	805	5.4	▲26.5	786	5.5	▲2.4	917	5.9	16.7
卸、その他	3,442	23.2	▲1.4	3,374	21.4	▲2.0	2,960	19.9	▲12.3	2,740	19.1	▲7.4	2,404	15.4	▲12.2
合計	14,863	100.0	▲2.2	15,776	100.0	6.1	14,885	100.0	▲5.6	14,317	100.0	▲3.8	15,626	100.0	9.1

3. 参考資料

受注実績（2023年からの四半期推移）

（百万円）

	2023年 第1四半期	2023年 第2四半期	2023年 第3四半期	2023年 第4四半期	2024年 第1四半期	2024年 第2四半期	2024年 第3四半期	2024年 第4四半期	2025年 第1四半期
国内	2,909	3,026	3,005	3,405	3,253	3,535	3,025	2,950	2,962
海外	797	709	677	749	896	781	794	887	795
（うち中国）	640	525	492	571	662	515	566	657	549
連結合計	3,707	3,735	3,683	4,155	4,149	4,316	3,819	3,837	3,757

受注実績（2020年からの年間推移）

2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により外出機会が減少し、化粧品向け需要が減少するも衛生関連用品の需要が増加
2021年は資源循環型パッケージングの需要増あるも年度後半は第5波の影響もあり国内受注が減少。2022年は国内は3月までの行動制限の影響や下期の第7波、8波の影響もあり、化粧品需要は本格的な回復に至らず。中国はゼロコロナ政策による移動制限の影響で需要が停滞。2023年は日本は年度後半から受注回復基調へ。一方中国は景気低迷による消費減から受注が大幅減。2024年日本は大型の受注案件により大幅増。中国は消費者の節約志向や競争激化の中でも営業活動の取り組みを強化し受注増となる。インドは化粧品市場の活況が継続し取引顧客層も拡大中

（百万円）

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年	
	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率
国内	12,454	15.2%	12,274	▲1.4%	11,841	▲3.5%	12,347	4.2%	12,764	3.4%
海外	3,597	▲5.6%	4,034	12.1%	3,398	▲15.7%	2,934	▲13.7%	3,359	14.5%
（うち中国）	3,258	▲9.5%	3,504	7.6%	2,871	▲18.1%	2,229	▲22.3%	2,401	7.7%
連結合計	16,051	9.7%	16,308	1.6%	15,240	▲6.5%	15,282	2.3%	16,123	5.5%

3. 参考資料

為替レート (PL使用レート)

	2023年 第1四半期	2023年 第2四半期	2023年 第3四半期	2023年 第4四半期	2024年 第1四半期	2024年 第2四半期	2024年 第3四半期	2024年 第4四半期	2025年 第1四半期
円／元	19.35	19.46	19.62	19.82	20.63	21.07	20.99	21.04	20.94
円／米ドル	132.42	135.00	138.24	140.67	148.63	152.36	151.46	151.69	152.55
円／ユーロ	142.16	145.93	149.77	152.11	161.33	164.70	164.56	164.05	160.55
円／ルピー	1.62	1.65	1.69	1.71	1.80	1.84	1.83	1.82	1.77
円／バーツ	3.91	3.95	4.01	4.04	4.17	4.21	4.24	4.30	4.49

3. 参考資料

金型開発状況 金型の資産状況

4,089型の保有金型のうち約9割は償却済み、収益の源泉であり財務効率に優れる。オランダの金型は日本へ移動

		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年1Q (金型数)
日本	完成金型数	59	97	93	65	116	51	13
	廃却・移動	▲80	▲99	▲16	▲30	▲53	▲26	▲6
	保有金型数	2,321	2,319	2,396	2,431	2,494	2,519	2,526
中国	完成金型数	74	84	89	32	37	45	9
	廃却・移動	7	▲159	▲8	▲19	▲15	▲8	-
	保有金型数	1,184	1,109	1,190	1,203	1,225	1,262	1,271
オランダ	完成金型数	19	4	-	-	-	-	-
	廃却・移動	-	-	▲23	-	-	-	-
	保有金型数	19	23	-	-	-	-	-
インド	完成金型数	27	48	45	31	35	46	10
	廃却・移動	-	-	-	-	23	9	-
	保有金型数	45	93	138	169	227	282	292
連結	完成金型数合計	179	233	227	128	188	142	32
	保有金型数	3,569	3,544	3,724	3,803	3,946	4,063	4,089
		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年1Q (百万円)
連結取得金額		4,827	4,654	5,003	5,220	5,541	5,825	5,768
連結減価償却累計額		▲4,175	▲4,163	▲4,453	▲4,743	▲5,113	▲5,333	▲5,321
連結金型(純額)		651	490	550	477	540	491	446
純額割合		13.5%	10.3%	11.0%	9.1%	9.8%	8.4%	7.7%



竹本容器株式会社
代表取締役社長
竹本 笑子

会社名 竹本容器株式会社
Takemoto Yohki Co., Ltd.

設立年月 1953年5月19日（昭和28年）

代表者 代表取締役社長 竹本 笑子

所在地 東京都台東区松が谷2丁目21番5号

事業内容 容器の企画・開発・製造・販売

資本金 8億342万1,725円（2024年12月31日現在）

発行済株式数 12,529,200株（2024年12月31日現在）

単元株主数 12,130名（2024年12月31日現在）

グループ従業員数 769名（2024年12月31日現在）

上場市場 東京証券取引所スタンダード市場
[証券コード：4248]

ホームページ <https://www.takemotopkg.com>



Global Network



本社



合羽橋ショールーム



大阪営業所・ショールーム



福岡営業所・ショールーム



名古屋営業所・ショールーム



北海道営業所



TOGETHER LAB

本資料に掲載されている将来に関する記述の部分は、資料作成時において当社が各種情報により判断した情報ではありますが、その内容を当社として保証するものではありません。

予想数字等は、今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。また、本資料は投資勧誘を目的に作成したものではありません。投資を行う際は、ご自身のご判断で行って頂きますようお願い申し上げます。

すべては “ Standout ” な
パッケージングソリューション
創造のために